

上葉優位型肺線維症と栄養・リハビリ療法（呼吸器内科）

臨床研究の名称	上葉優位型肺線維症に対する 栄養・リハビリ療法介入の有効性の後方視的検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医師 山川 英晃
研究の概要	【目的】 間質性肺炎は特発性、膠原病性、過敏性肺炎など多彩な原因により起こりうる疾患であり、いかなる理由においても進行性の経過を示し、その一群は予後不良の転帰をたどります。この間質性肺炎の中の上葉優位型肺線維症は、治療薬がいまだなく進行すると予後不良であることが知られています。痩せ型の患者様に発症することが多く、呼吸困難が強くなることで呼吸筋疲労も強く徐々にADLが低下していき衰弱してくるため、気胸や誤嚥性肺炎などの合併症もきたしてきます。現状では有効な治療薬が無いため、栄養療法とリハビリ療法による体格担保が何より求められ、それが合併症の予防にも寄与します。ただ、栄養療法やリハビリの効果を示唆するデータも不足しており、エビデンスの構築には至っていません。そのため上葉優位型肺線維症に対して、栄養・リハビリ療法介入を行った患者の有効性を明らかにすることを目的として後方視的に検討します。 【対象患者】 当院において2018年4月1日から2025年3月31日までに上葉優位型肺線維症の診断を受けられた患者様。 【研究期間】臨床倫理委員会承認後から2026年3月31日まで 【方法】 上葉優位型肺線維症の診断時の身長・体重や検査値・画像および臨床経過を調べ、適切な解析手法により検討する。 【使用する情報】 年齢・性別・検査結果（血液・呼吸機能・画像）・身長・体重・臨床経過 【個人情報の取り扱い】 本研究で取り扱うすべての臨床情報は名前や住所など患者様個人を特定できる情報を除き、院外へ持ち出すことはなく管理するため情報が外に漏れることはありません。また研究結果を学会や論文などで報告する場合も、報告内容に個人を特定できる情報は一切含みません。もし患者様より情報提供を拒否する申し出があった場合は速やかに研究利用対象からはずさせていただきます。ただし研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります。
問い合わせ先	呼吸器内科 医師 山川 英晃 〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 さいたま赤十字病院 電話番号 048-852-1111（代表）